

# 農業農村整備フェアで 農業・農村の役割をPR!

## 第131回秋田県種苗交換会の協賛行事として開催!

農業農村整備事業の啓発普及や農業・農村の多面的機能などを広く一般にPRしようと毎年開催している「農業農村整備フェア」が、10月30日～11月5日まで、今年の種苗交換会の開催地である“にかほ市（旧象潟中学校校舎）”で行われ、多くの来展者で賑わった。

フェアは、水土里ネット秋田のほか、東北農政局（西奥羽土地改良調査管理事務所、平鹿平野農業水利事業所）と秋田県の共催で、毎年人気の縄ないの実演・体験を行う「ふれあい体験コーナー」、写真入りカレンダーの作成、湧水や用水路に生息するイバラトミヨの水槽展示、各団体が取り組んでいる「農業農村整備」に関するパネル紹介などを行った。

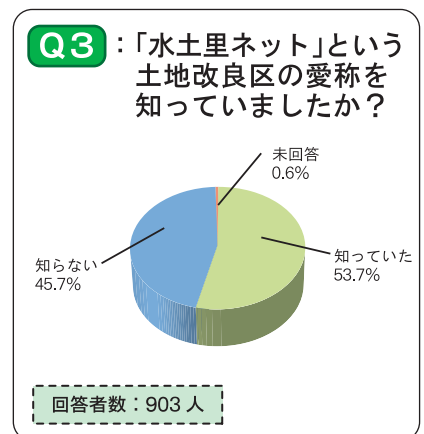
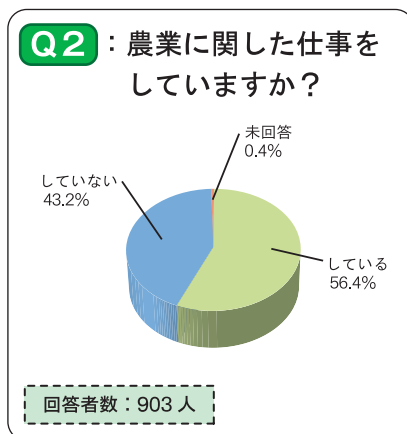
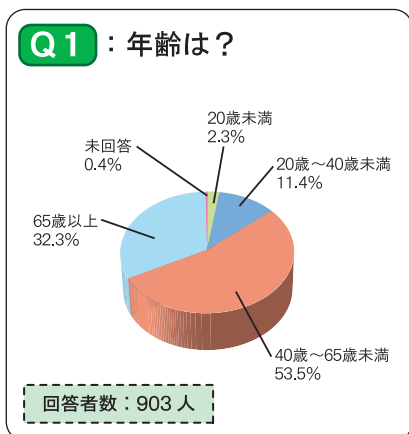
来展者は、サービスのポップコーンを手にしながら、パネルや水槽の前で立ち止まりながら真剣に見入っていた。また、縄ないの体験コーナーでは、小学生からお年寄りまで、指導者から手ほどきを受けながら、楽しそうに縄ないに興じている姿が見受けられた。中には、2時間近くかけて「わらじ」を編み込んだ人もいた。

水土里ネット秋田では、写真コンクールの作品展や昨年度から取り組んでいる「農地・水・環境保全向上対策」の各地域での取り組み紹介、「農業用水水源地域保全対策事業」をPRしたジオラマ（模型）などの展示物を出展したほか、土地改良相談コーナーの開設やアンケートを行い、来展者の生の声を聞きながら、水土里ネット秋田の役割や農業・農村に対する理解を深めてもらうためのPRに努めた。

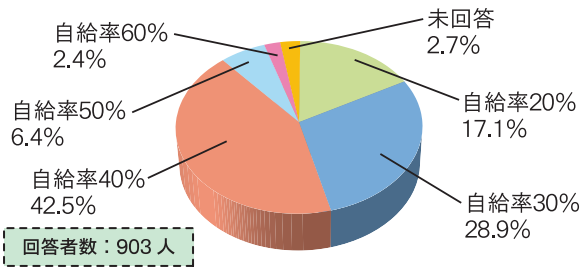


なお、期間中に来展者に実施したアンケートの集計結果は次のとおり。

### アンケート結果

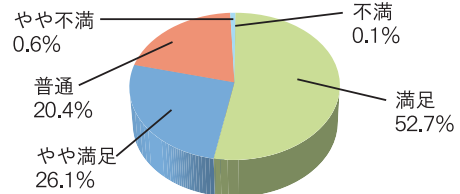


**Q4** : 日本の食料自給率が何%だと思いますか？

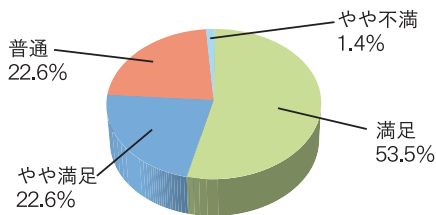


**Q5** : この「農業農村整備フェア」の各コーナーの満足度についてお聞かせください。

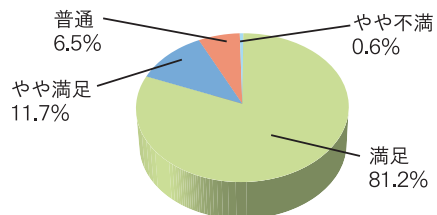
【パネル・模型・水槽などの展示物】



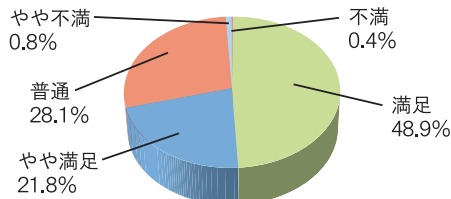
【ふれあい体験(縄ない)】



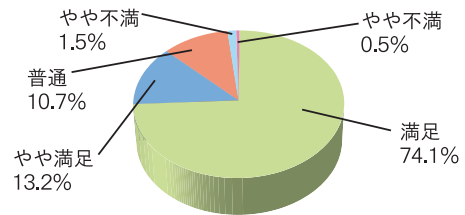
【カレンダー作成】



【土地改良相談・アンケート】



【ポップコーン】



◆平成20年秋の勲章(関係受章者)◆

平成20年秋の叙勲の受章者が11月3日に発表されました。対象者は、教育や福祉、地方自治、消防などの分野で長年にわたり社会貢献してきた方々です。本会の会員からも土地改良事業の功績が認められ次の方が受章されました。おめでとうございます。

◆旭日単光章(土地改良事業功労)



齊藤 保雄

- ・元秋田県土地改良事業団体連合会理事
- ・元羽後町土地改良区理事長

12月、野に咲く花

雪をかぶる柿



「モガれない柿はひと昔より多く見られる」食する人も採る人も少なくなった畑  
(大仙市西仙北の畑)

支部からの  
水土里通信  
由利支部

## 農村環境向上対策による学校教育と連携した農業体験学習

水土里レポーター：水土里ネットにかほ（にかほ市土地改良区）事務局長／須田 久

平成18年度まで21土地改良区創造運動の一環として取り組んできた「小学校の農業体験学習」も平成19年度より地域の農地・水・環境保全向上活動組織に引き継がれ、本年度も農村環境向上対策の事業として学校教育と連携した活動が実施された。



5月22日の田植え作業は、地元小学5年生と地区活動組織会員で伝統的田植え作業と農業生産に欠かすことができない水利用についても勉強をして、作業の体験感想と秋の収穫を期待しながら終了した。



今年は、稲作も順調に進み当学校田も10月7日に稲刈り作業を向かえ、春に田植えを行った小学生と地域住民の協力による稲刈り作業を体験して秋の収穫を喜びあった。

地区活動組織会員からは、「初めて農作

業を体験する生徒がほとんどなので、農業を少しでも伝えていく必要がある」といった声が聞かれた。



この活動状況は、市の広報にも紹介され、また水土里ネット秋田主催の「第11回美しく豊かな農村づくり写真コンクール」で県知事賞にも選ばれ、巾広く市民に情報等を提供しております。



また、12月には生徒から「体験感想文」が地区活動組織に届くことになっており、特に地区の高齢者の方は楽しみにしているとのお話しでした。

今後も、地区活動組織及び水土里ネットにかほ、関係諸団体等が連携しながら継続していくことを期待しております。

## INFORMATION

## Webサイト(ホームページ)の掲載

## ■「第31回全国土地改良大会秋田大会」の開催報告(本会HP)

去る10月14日～16日に開催された「第31回全国土地改良大会秋田大会」では、多くの方々から大会の参加並びに開催運営にご協力いただきましてありがとうございました。

大会式典や事業視察の様子を開催報告という形で、水土里ネット秋田のHP内(全国大会のサイト)に掲載しておりますので、皆さんもご覧ください。

●水土里ネット秋田・ホームページ <http://homepage2.nifty.com/akidoren/>

## 年末年始の休業について

本会の年末年始の業務は次の通りとなりますので、お知らせいたします。

- 12月26日(金) 仕事納め(通常業務)
- 12月27日(土)～1月4日(日) 年末年始休業(本部・各事務所は閉館となります)
- 1月5日(月) 仕事始め(通常業務)

## 編 集 後 記

- ◆今年も全国水土里ネット主催の21創造運動全国セミナーが開催された。今年度の21創造運動大賞を受賞した7水土里ネットから事例発表とパネラーとして意見を交わすパネルディスカッションがあった。受賞地区は、職員24名で受益面積約3万haのところや職員1名で受益面積15haなど、水土里ネットの規模の大小に関わらず地域と連携した意欲的な運動が評価された結果だと思う。県内では、今年度の土地改良関係団体役員講習会が先日終了したが、この中で21創造運動をテーマに事例発表やディスカッションが実施された。発表者やパネラーとして意見を述べた各水土里ネット役職員のヤル気(熱意)は、今後の運動推進の参考になったことと思います。21創造運動の積極的な活動を契機に、県内各地で水土里ネットが地域に頼られる水土里ネット、地域に必要な組織となることを期待しています。
- ◆先日、京都の清水寺で1年の世相を表す今年の漢字は「変」と発表された。発表は今年で14回目。日本漢字能力検定協会の公募で、全国から過去最多の11万1,208通の応募があり、変は全体の5%にあたる6,031票を獲得した。確かに、今年はオバマ氏の変革を訴えて次期アメリカ大統領に選ばれたり、世界経済の大変動が起きたり、自分の周りで予測できない変化が加速的におきていると感じているのは私だけだろうか。振り返ると、今年は全国土地改良大会、創立50周年と慌ただしい一年で、なかなか自分自身を振り返る時間もなかったように思う。今年もいよいよ残すところ1週間余りとなったが、自分自身もこの「秋田の土地改良」も時代に合った形で変わっていくことが大切だと思う。2009年はどんな一年になるか予測できないが、明るく楽しい年になることを願っています。来年も秋田の土地改良をよろしく願います。(広報・渉外班◇嵯峨記)